学校番号	414

令和８年度　情報科

教科	情報	科目	課題研究	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・一年で学習した内容をより発展させた内容を学習します。実践的・体験的な学習を通して、コンピュータやネットワークについて学び、それを使いこなす技術を身に付けるとともに、ネットワーク上の問題点について、法的な見解を含めて考えましょう。
・コミュニケーションについて、１年で学習した内容を発展させて、ワークショップや演習等を通して問題点・改善点を検討し、自分の意見を自分の言葉で発表しましょう。

2　学習の到達目標

①情報化が社会に及ぼす影響、情報を受信・発信するときの責任を理解し、情報機器を利用するための知識と技術を身に付けている。
②プレゼンテーションを行うために、自分の意見を発表するための思考や判断ができる。
③コンピュータの仕組みやネットワークの仕組みを理解するために、主体的に学習に取り組むことができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・情報と情報技術を適切に活用するための知識とそれを活用して問題を発見・解決するための方法についての理解 ・情報社会の進展とそれが社会に果たす役割と影響、および、情報に関する法・制度やマナーの意義と情報社会において個人が果たす役割や責任についての理解	・さまざまな事象を情報とその結び付きの視点から捉える力 ・問題の発見・解決に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用する力 ・複数の情報を結び付けて新たな意味を見いだす力	・情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与しようとする態度 ・自らの情報活用を振り返り、評価し改善しようとする態度 ・情報モラルや情報に対する責任について考え行動しようとする態度

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	技術とのかかわり	13 情報セキュリティ 14 情報セキュリティの確保 15 情報の暗号化 16 安全にコンピュータを利用する	c サイバー犯罪や情報の流出などのセキュリティ対策に関心をもち，主体的に対応しようとしている。 b サイバー犯罪や情報の流出などへのセキュリティ対策の必要性について考え，適切に判断し，対応している。 c コンピュータウイルスへの対策を行うことができる。 ・パソコンのセキュリティ対策を適切に行うことができる。 a サイバー犯罪や情報の流出などの現状を知るとともに，セキュリティ対策の必要性やその方法を理解している。	小テスト	授業プリントの記述	ふりかえりシートの記述
2学期	情報通信ネットワーク	32 通信とその進展 33 ﾏｽｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ 34 ｺﾝﾋﾟｭｰﾀによる通信 35 通信プロトコル 36 パケット通信 37 通信の信頼性 38 IP アドレスとドメイン 39 WWW と電子メール 30 ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝｿﾌﾄｳｪｱの利用(1) 31 ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝｿﾌﾄｳｪｱの利用(2)	a ネットワークに関心をもち，積極的に活用しようとしている。 bＬＡＮやインターネットなどのコンピュータによる通信の発達とその影響について考えている。 c ｺﾝﾋﾟｭｰﾀをＬＡＮ接続するために必要な技能を身に付けている。 身近な問題点について自分の考えをまとめて発表できる。 aＬＡＮ，ＷＡＮ，インターネットに関する知識を身に付けている。 他者の発表を聞き、評価を行うことができる。	小テスト	授業プリントの記述	ふりかえりシートの記述

3学期	法とのかかわり	17 知的財産権 18 著作権 19 個人情報 2021 ディジタル情報の表し方 222324 ディジタル表現音・画像・CG・動画 25 データの圧縮″	b 情報を保護するための法律や個人の責任について考察し，その結果を適切に表現している。 c 個人情報やプライバシーを保護し，法律を守って情報技術を活用することができる。 a 著作権などの知的財産権を保護する必要性や，その法律の目的について理解している。	小テスト	授業プリントの記述	ふりかえりシートの記述

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度